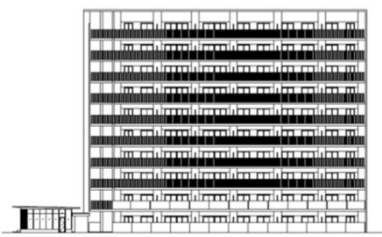




評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE柏2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	豊四季台団地(建替)第IV期	階数	地上10F
建設地	千葉県柏市豊四季台2丁目937-17	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	0時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年4月 予定	評価の実施日	2019年12月11日
敷地面積	5,228 m ²	作成者	株式会社長谷工コーポレーション
建築面積	1,711 m ²	確認日	2019年12月11日
延床面積	9,989 m ²	確認者	株式会社長谷工コーポレーション



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.8

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.1

3 設計上の配慮事項		
総合 地域の景観に配慮した色彩、高さとし、道路等の公共空間との間に植栽を施し周辺からの見え方に配慮した計画とした		その他 景観を崩さないシンプルな建物形状とすることで、地域の景観維持に配慮。
Q1 室内環境 ・二重壁によりDr値50を目標値として設定。 ・F☆☆☆☆を床、壁、天井、天井裏の面積の合計70%以上の面積に採用。	Q2 サービス性能 利用者にとってより良い空間づくりを目指し、建物の維持管理に配慮した設備計画、耐震性に配慮した構造計画とした。	Q3 室外環境(敷地内) 建物の配置、形態、植栽などを周辺との調和に配慮した計画としている。
LR1 エネルギー 日本住宅性能表示基準「5-1断熱性能等級」等級4相当として建物外皮性能を向上させることでの熱負荷抑制を図った。	LR2 資源・マテリアル 節水機能のある水栓を住宅設備として採用することで水資源の省力化に配慮した。	LR3 敷地外環境 基準に則った雨水排水計画やゴミ置き場の設置により敷地外環境向上に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

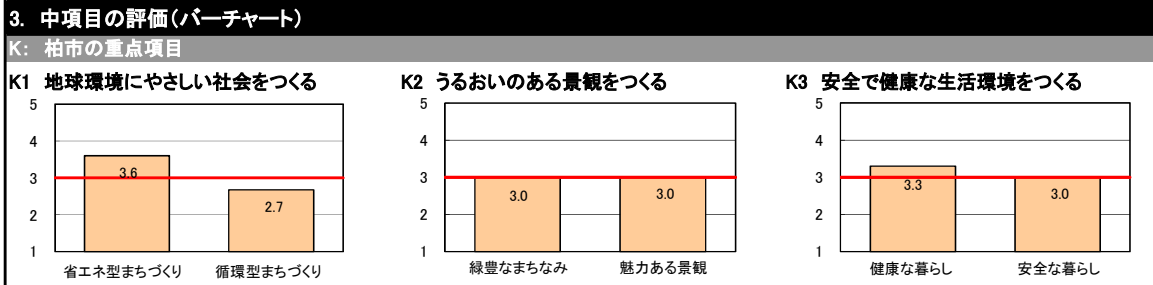


評価結果

■使用評価マニュアルASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE柏2016(v2.1)

1 建物概要		建築物の環境効率 (BEEランク)	B+	★★★★☆
建物名称	豊四季台団地(建替)第IV期			

2 重点項目への取組み度		重点項目	取組み度 ※ (得点/満点)	評価結果
K1	地球環境にやさしい社会をつくる		3.1 / 5.0	ふつう
K2	うるおいのある景観をつくる		3.0 / 5.0	ふつう
K3	安全で健康な生活環境をつくる		3.1 / 5.0	ふつう
※ 対応するCASBEEのスコアと主な指標を元に、独自に設定された条件で評価をします。(左記は評価結果の凡例)		すばらしい 4点以上	ふつう 3点以上	がんばろう 3点未満



4. 設計上の配慮事項		スコアシート
<p>K1 地球環境にやさしい社会をつくる</p> <p>注) 「1. 省エネ型まちなみ」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p> <p>注) 「2. 循環型まちなみ」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。</p>	<p>1. 省エネ型まちなみ</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 建物の熱負荷抑制(LR1-1) スコア 3.0 1.2 自然エネルギーの利用(LR1-2) スコア 3.0 1.3 設備システムの高効率化(LR1-3) スコア 5.0 1.4 効率的な運用(LR1-4) スコア 3.0 <p>2. 循環型まちなみ</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.1 雨水利用・雑排水再利用(LR2-1.1) スコア 3.0 2.2 雨水排水負荷抑制(LR3-2.3.1) スコア 3.0 2.3 非再生性資源の使用量削減(LR2-2) スコア 2.7 2.4 廃棄物処理負荷抑制(LR3-2.3.4) スコア 2.0 	
<p>K2 うるおいのある景観をつくる</p> <p>求められ緑化面積を確保する計画とし、まとまった植栽帯を配置することで緑豊かな街並みとなるように配慮した。</p> <p>地域の風景に馴染むようシンプルな建物形状、色彩計画に配慮することで地域の景観向上に配慮した。</p>	<p>スコアシート</p> <p>1. 緑豊かなまちなみ</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 生物資源の保全と創出(Q3-1) スコア 3.0 <p>2. 魅力ある景観</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.1 まちなみ・景観への配慮(Q3-2) スコア 3.0 2.2 水空間の創出 設置の有無 - 2.3 道路沿いの緑化 緑視率の確保 - 	
<p>K3 安全で健康な生活環境をつくる</p> <p>専有部の仕上には、有害物質の排出が抑制された仕上げによって計画することで、居住者の健康的な暮らしに貢献できるよう配慮した。</p> <p>建物へのアプローチに関して、駐車場、駐輪場、エントランスの経路を極力分離させることによって、安全な動線計画を確保する計画とした。</p>	<p>スコアシート</p> <p>1. 健康な暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> 1.1 空気環境(Q1-4) スコア 3.6 1.2 バリアフリー計画(Q2-1.1.3) スコア 3.0 <p>2. 安全な暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> 2.1 耐震・免震(Q2-2.1) スコア 3.0 2.2 防犯対策 防犯性の配慮 - 	